

I 炎症性腸疾患の疫学

● 本邦における IBD の患者動向

西脇 祐司, 村上 義孝 14

- I. 罹患率／14
- II. 有病率／15
- III. 性差と発症年齢／15
- IV. UC : CD 比／17

II 炎症性腸疾患の病因・病態

① 遺伝子関連

角田 洋一 20

- I. 一般的な IBD の発症に関わる遺伝要因／20
- II. 遺伝的要因が強い IBD／22
- III. 遺伝子解析から見えた IBD の病因／23
- IV. 予後や治療に関わる遺伝的要因／23
- V. IBD のゲノム医療／24

② 炎症性腸疾患の病態

萩原 裕也, 金井 隆典 26

- I. IBD の概念／26
- II. 病因ごとに見る IBD の病態／27
- III. 粘膜免疫／28

③ 炎症性腸疾患と腸内細菌

安藤 朗 32

- I. ヒトの腸内細菌叢／32
- II. ヒトと腸内細菌の共生関係／32
- III. 生体防御機構としての粘液層／33
- IV. IBD の腸内細菌叢ではどのような変化が起きているのか？／33
- V. IBD 腸内細菌叢における *Clostridium* の減少の意味／35
- VI. Th17 細胞の誘導に関わる細菌／36
- VII. 腸内真菌叢の変化／37

Ⅲ 炎症性腸疾患の検査法

1	X線検査	横山 薫	40
	I. クロウン病における X 線検査／40		
	II. 潰瘍性大腸炎における X 線検査／42		
	III. IBD に X 線検査は必要か？／44		
2	大腸内視鏡検査	岩男 泰	45
	I. 大腸内視鏡の目的, 適応, 実施のタイミング／45		
	II. 検査の実際と注意点／48		
3	小腸バルーン内視鏡検査	大塚 和朗, 竹中 健人, 鈴木 康平 長堀 正和, 渡辺 守	50
	I. CD の小腸病変／50		
	II. BAE の有用性／50		
	III. 検査の施行時期／52		
	IV. 検査の実際／52		
4	CT・MRI	渡辺 憲治, 上小鶴孝二, 横山 陽子 宮寄 孝子, 樋田 信幸, 中村 志郎	55
	I. クロウン病患者における CT enterography／56		
	II. クロウン病患者における MR enterography／56		
	III. クロウン病における MRE の課題／57		
5	腹部超音波検査	中村 美咲, 濱田 康彦, 堀木 紀行 荒木 俊光, 楠 正人	60
	I. 腹部超音波検査(US)による 腸管検査法／60		
	II. 潰瘍性大腸炎の腹部超音波検査／61		
	III. クロウン病の腹部超音波検査／61		
	IV. IBD における超音波検査の有用性と問題点／63		
6	炎症性腸疾患の病理検査	明本 由衣, 田中 正則	65
	I. IBD と non-IBD の鑑別／65		
	II. UC と CD の鑑別／67		
	III. monogenic IBD の生検診断／68		

7	便中カルプロテクチン・ヘモグロビン検査	松岡 克善	72
	I. カルプロテクチンとは／72		
	II. 炎症性腸疾患と非器質的腸疾患の鑑別／73		
	III. UC の病態把握／73		
	IV. 便ヘモグロビン検査／75		

IV 炎症性腸疾患の診断

1	潰瘍性大腸炎の診断基準	平井 郁仁	78
	I. 定 義／78		
	II. 診断手順／78		
	III. 診断基準／79		
	IV. 病型・病期・重症度／81		
2	クローン病の診断基準	平井みなみ, 梁井 俊一, 松本 主之	83
	I. CD の診断手順／83		
	II. 診断基準／84		
3	潰瘍性大腸炎とクローン病との分類不能症例	遠藤 豊, 梅沢翔太郎, 鍋田 陽昭 森川 吉英, 吉田 篤史	88
	I. IBDU の臨床経過と頻度／88		
	II. 実臨床での IBDU 診断／89		
	III. IBDU の取り扱い／90		
4	炎症性腸疾患における腸管・腸管外合併症	加藤 順, 津田 早耶	92
	I. 腸管合併症／92		
	II. IBD の上部消化管病変／94		
	III. 腸管外合併症／95		
5	炎症性発癌とサーベイランス	畑 啓介, 品川 貴秀, 石原聡一郎	98
	I. IBD における発癌の特徴／98		
	II. Dysplasia が発見された際の治療法／99		
	III. 適切な癌サーベイランスの在り方／100		

V 炎症性腸疾患の内科治療

- ① 炎症性腸疾患治療指針・ガイドライン 中村 志郎, 樋田 信幸, 渡辺 憲治 104
宮寄 孝子, 横山 陽子, 上小鶴孝二
- I. 潰瘍性大腸炎(UC)／104
II. クロウン病(CD)／107
-
- ② 5-ASA(5-アミノサリチル酸)製剤 櫻井 俊之, 猿田 雅之 111
- I. 5-ASA 製剤の作用機序／111
II. 各種 5-ASA 製剤の特色／111
III. 5-ASA 製剤の治療戦略におけるポジショニング／113
IV. 治療効果／113
V. 5-ASA 製剤におけるアレルギー・不耐／114
-
- ③ 副腎皮質ステロイド 杉本 健 116
- I. ステロイド薬治療の歴史と作用機序および特性／116
II. 治療戦略における副腎皮質ステロイドのポジショニングと治療効果／117
-
- ④ 免疫調節薬—アザチオプリン(AZA), 6-メルカプトプリン(6-MP) 鈴木 康平, 長堀 正和, 渡辺 守 121
- I. チオプリン製剤の作用機序／121
II. 効果・治療戦略／122
III. チオプリン製剤の使用法／123
IV. 副作用／123
V. 妊婦への使用および安全性／124
-
- ⑤ 免疫抑制薬—シクロスポリン, タクロリムス 仲瀬 裕志 126
- I. シクロスポリン／126
II. タクロリムス／128
-
- ⑥ 抗 TNF- α 抗体製剤—インフリキシマブ 伊藤 裕章 131
- I. 炎症性腸疾患に対するインフリキシマブの効果／131
II. インフリキシマブの奇異性反応—乾癬／132
III. インフリキシマブと免疫調節薬／132
IV. 妊娠・授乳に関する安全性／133
V. インフリキシマブ血中トラフ濃度と抗インフリキシマブ抗体／133
VI. インフリキシマブ休薬の可能性／134

7 抗 TNF- α 抗体製剤—アダリムマブ 田中 浩紀, 中村 健太, 杉山 浩平 137
宮川 麻希, 那須野正尚, 本谷 聡

- I. アダリムマブの作用機序と特性／137
- II. アダリムマブの CD 治療戦略におけるポジショニングと治療効果／138
- III. アダリムマブの UC 治療戦略におけるポジショニングと治療効果／139

8 抗 TNF- α 抗体製剤—ゴリムマブ 山田 哲弘, 松岡 克善, 鈴木 康夫 142

- I. 製剤の特徴／142
- II. 薬物動態との観点, 免疫調節薬併用について／142
- III. 抗体製剤の使い分けについて／143
- IV. 悪性腫瘍との関連ほか注意すべき副作用／143
- V. 妊娠など特殊症例における対応／143
- VI. 実際の投与方法, 判定時期／143

9 抗 IL-12 p40 抗体—ウステキヌマブ 小林 拓 146

- I. 作用機序／146
- II. 特 性／147
- III. CD 治療におけるポジショニング／148

10 JAK 阻害薬—トファシチニブ 久松 理一 151

- I. JAK-STAT 経路について／151
- II. JAK 阻害薬の開発とトファシチニブの特性／152
- III. トファシチニブの臨床成績／152
- IV. トファシチニブのポジショニング／154
- V. 今後の課題／155

11 抗接着分子治療 本谷 聡, 杉山 浩平, 宮川 麻希 156
—ベドリズマブを中心に 那須野正尚, 田中 浩紀

- I. ベドリズマブによる潰瘍性大腸炎の寛解導入成績／156
- II. ベドリズマブによる潰瘍性大腸炎の寛解維持と長期成績／158
- III. 潰瘍性大腸炎治療でのベドリズマブの適応と位置づけ／160

12 抗菌薬療法 桂田 武彦, 坂本 直哉 162

- I. UC に対する抗菌薬療法／162
- II. CD に対する抗菌薬療法／164
- III. 今後の抗菌薬療法について／165

13 血球成分除去療法 山本 隆行, 下山 貴寛, 梅枝 覚 167

- I. IBD に対する CAP 治療／167
- II. CAP の効果発現機序／167
- III. 大規模臨床試験における UC に対する CAP の有効性／168
- IV. CAP の副作用と安全性／168
- V. CAP 治療効果増強のための方策／170
- VI. CAP によるステロイド減量効果／170
- VII. CAP 有効性に関与する因子／170
- VIII. 小児・高齢者・妊婦への CAP／170
- IX. CD に対する GMA の効果／171

14 栄養療法 佐々木雅也, 馬場 重樹 173

- I. 炎症性腸疾患における栄養障害／173
- II. CD における栄養療法の位置づけ／174
- III. CD における栄養療法／175
- IV. UC における栄養療法／178

15 漢方薬 長沼 誠 180

- I. 漢方薬の基本概念／180
- II. 炎症性腸疾患の実臨床で正在されている漢方薬／181

16 内視鏡的拡張療法 辻川 知之, 神田 暁博, 大槻 晋士 186 高橋憲一郎, 馬場 重樹

- I. 内視鏡的拡張療法の適応外狭窄／187
- II. 内視鏡的拡張術の具体的実施法／188

17 サイトメガロウイルス(CMV) 腸炎 松浦 稔, 山田 聡, 本澤 有介 192 山本 修司, 妹尾 浩

- I. CMV の生物学的特性と再活性化機構／192
- II. CMV 感染の診断／193
- III. UC における CMV 感染の病態生理／194
- IV. UC に合併する CMV 感染の治療／195

18 粘膜再生治療法 清水 寛路, 鈴木 康平, 岡本 隆一 198 渡辺 守

- I. 正常腸管における腸管上皮恒常性の維持機構／198
- II. IBD における粘膜障害機構／199
- III. IBD における腸管上皮修復のしくみ／200
- IV. IBD における「再生医療」の試み／200

VI 炎症性腸疾患の外科治療

- ① 炎症性腸疾患の外科治療 桑原 隆一, 池内 浩基, 内野 基 204
I. 潰瘍性大腸炎(UC)の外科治療/204
II. クロウン病(CD)の外科治療/206
-
- ② クロウン病肛門病変の治療 二見喜太郎, 東 大二郎, 平野由紀子 208
林 貴臣, 増井 友恵, 竹下 一生
I. クロウン病における肛門病変/208
II. クロウン病肛門病変に対する治療/210
-
- ③ 術後 pouchitis(回腸嚢炎)の診断と治療 板橋 道朗, 中尾紗由美, 谷 公孝 214
番場 嘉子, 小川 真平, 山本 雅一
I. Pouchitis の診断と分類/214
II. Pouchitis の治療/218
III. Pouchitis の予防/寛解維持/220
IV. 今後の課題/220
-
- ④ クロウン病の術後再発と予防法 荒木 俊光, 大北 喜基, 近藤 哲 222
廣 純一郎, 問山 裕二, 楠 正人
I. 術後再発を抑制するための手術時の対策/222
II. 術後治療方法/223
III. 術後再発評価方法/226
IV. 再発時の治療/227

VII 妊婦・小児の炎症性腸疾患の診療

- ① 炎症性腸疾患患者の妊娠症例 渡辺知佳子, 三浦総一郎, 穂苅 量太 232
I. IBD 合併妊娠の計画/233
II. 妊娠転帰と IBD 活動性/233
III. 妊娠中の検査/234
IV. 妊娠・授乳期の薬物療法/234
-
- ② 小児炎症性腸疾患に対する治療指針 余田 篤 239
I. 小児 IBD 診療における注意点/239
II. IBD の治療/240
III. 超早期発症型炎症性腸疾患/246
IV. 内科医への transition/246

① 大腸カプセル内視鏡

細江 直樹, 宮永 亮一, 高林 馨 250
長沼 誠, 緒方 晴彦, 金井 隆典潰瘍性大腸炎 (ulcerative colitis ; UC)
に対する CCE / 250

② 炎症性腸疾患診断における AI 導入の可能性

福原佳代子, 緒方 晴彦 253

- I. 潰瘍性大腸炎 (ulcerative colitis ; UC) を対象とした AI 開発 / 254
 II. クロウン病 (CD) を対象とした AI 開発 / 254

索引……………256

表紙写真提供

- | | |
|---|---|
| ① | ② |
| ③ | ④ |
| | ⑤ |
- ①岩男 泰 (p.46)
 ②横山 薫 (p.40)
 ③渡辺憲治 (p.58)
 ④辻川知之, 他 (p.189)
 ⑤平井みなみ, 他 (p.86)

頻出略語一覧

略語	英語	訳語
5-ASA	5-aminosalicylic acid	5-アミノサリチル酸
6-MP	6-mercaptopurine	6-メルカプトプリン
ADA	adalimumab	アダリムマブ
CD	Crohn's disease	クロウン病
CDAI	Crohn's Disease Activity Index	
CDEIS	Crohn's Disease Endoscopic Index of Severity	
IBD	inflammatory bowel disease	炎症性腸疾患
IFX	infliximab	インフリキシマブ
IL	interleukin	インターロイキン
SES-CD	Simple Endoscopic Score for Crohn's Disease	
TNF- α	tumor necrosis factor- α	腫瘍壊死因子- α
UC	ulcerative colitis	潰瘍性大腸炎